

「信教の自由を覚える集い」

(オンライン配信)

「戦後の日本のキリスト教会が 負うべき戦争責任」

主催：日本福音キリスト教会連合・関東四地区信教の自由を覚える集い実行委員会

戦時中日本の教会は、私たちがお仕えする神様の決して許されないようなことをしました。現在の日本の教会、クリスチャンにとってこの歴史は、自分たちの歴史の一部です。国際化が広がりつつある今の時代に、周辺のアジアの同胞、戦争中の交戦国の米、英、蘭とつながりを保とうとするとき、過去はあっさり水に流して仲良くしていきましょう、というのは、日本人クリスチャン、日本の教会、日本国民としてはあまりにも身勝手な考え方で、神様は決して喜ばれないでしょう。こういうことを言いますと「自虐史観だ」とあげつらわれ、そのうちこういうことを公に取り上げる自由もなくなるかもしれません。戦前への逆戻りです。祖国の暗い歴史を知る日本人クリスチャンとして私たち夫婦が過去十七年余りどのように歩んできたかをお話したいと思います。(村岡崇光師の文章より)



講師：村岡崇光師

1938年広島市生まれ。高校の時、米人宣教師の英語聖書研究会でキリストに出会い、大学一年の時受洗。東京教育大学（現筑波大学）に入学。博士課程二年の時、イスラエル政府奨学金を受けヘブライ大学に留学。1969年に日本人として初めて、聖書ヘブライ語の研究で博士号を授与される。マンチェスター大学セム語講師、メルボルン大学中近東学生教授を歴任し、オランダ最古のライデン大学（1575年創立）のヘブライ語教授となる。2017年、聖書学におけるノーベル賞と言われるバーキット賞を受賞。定年退職後ソウルを訪ねたのを駆け出しに、以来、毎年一年の十分の一を神様にお返しするつもりで、日本帝国主義による膨大な加害の傷のまだ癒えていないアジア諸国の神学校、大学で専攻科目を無償で教えている。大学時代は、お茶の水女子大の学生であった妻とともに、キリスト者学生会で活動。二男、一女、孫二人。

● 申込方法

以下のアドレスにて Google フォームでお申し込みください。

<https://forms.gle/DzYbuyrwuGXzSxTt5>

(横の QR コードからも申し込み出来ます)

お申込みいただいた皆様に、動画を視聴するページの URL をお知らせします。

- 申し込み締め切り 2021年2月10日
- 動画配信期間 2021年2月11日～2021年2月28日
- 問い合わせ先 須田 毅 (JECA 関東四地区信教の自由委員会)
rpnxj052@yahoo.co.jp

